

アジア・アフリカ ラテンアメリカ

今月の読み物

- 2 面 沖縄からのレポート
- 3 面 日本 AALA 書簡
- 4、5 面 ニカラグア情勢
- 6、7、8 面 列島 AALA

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会機関紙

2018 年 11 月 1 日 No.700

沖縄
県知事選挙

新基地ノーの圧倒的意志を示す

平和で豊かな

誇りある沖縄の実現に全力



初登庁で花束を贈られるデニー知事を報じる琉球新報

県民の選択が世界に反響

沖縄県知事選挙で玉城デニー氏は、安倍官邸丸抱えの候補に約 8 万余票の大差をつけ、知事選史上最多の約 40 万票を獲得して初当選しました。「自立と共生の沖縄、誇りある豊かな沖縄の実現に向けて全力でとりくみたい。沖縄が平和で安全に暮らせることが欠かせないし、そのためには基地の整理縮小が必要で、新基地の建設は到底容認できない」と決意を表明しています。

(2 面：沖縄詩人会議代表・中正勇さんの「沖縄からのレポート」、3 面：世界の反響をお読みください)

米の一国主義は孤立、多国間主義と国際協調が主流に

「核兵器廃絶と各国の主権擁護」非同盟諸国が閣僚会合

第 73 回国連総会は 9 月 18 日からニューヨークで開幕し（会期は 1 年間）、各国の首脳が演説しました。トランプ米大統領は 9 月 25 日の演説で、米朝両国間での朝鮮半島の非核化にとりくんでいと述べるとともに、「グローバリズムの思想を拒絶し、愛国主義の原理を尊重する」と米国第一主義を正当化しました。これにたいし各国から厳しい批判が噴出、多国間主義の強化と国際協調が強調され、国益優先の大国主義・一国主義は孤立しました。9 月 26 日



の核兵器廃絶国際デーには国連本部で昨年 7 月に採択された核兵器禁止条約の署名・批准書提出式がおこなわれ、新たに 7 カ国が署名、4 カ国が批准しました。これで署名は 67 カ国、批准国は 19 カ国



エスピノサ総会議長（中）
II 国連 HP より

になりました。

また非同盟諸国の閣僚会合が開かれ、大国の干渉主義、排外主義に対抗して、各国の主権を守り、持続可能な発展と軍縮平和に取り組む意義が強調されました。



沖縄からのレポート

安倍政権への痛打

沖縄詩人会議代表

中 正勇

当確の報道を受けカチャーシーを踊るデニー氏とスタッフ

7月27日に翁長雄志知事は病の身で自ら記者会見に挑み、正々堂々と「埋め立て承認の撤回」を表明し、県民との公約を果たした。それには国による県職員への「撤回した本人に対して何百億円の損害賠償の訴訟を起こす」と言う恫喝への対応でもあった。記者会見後すぐの入院になったが、無念にも8月8日に急逝した。「埋め立て承認の撤回」を後押しする8月11日に予定されていた県民大会は、翁長知事の追悼集会へと変わった。雨天のなか、那覇市議で二男の翁長雄治さんの「病床で命の尽きる最後まで資料に目をやり埋め立て阻止の事を考えていた」との発言は、急逝して尚翁長知事の真の偉大さを、7万人余の参加者達は再認識したのではないかと思った。

11月に予定されていた県知事選は、9月13日告示、9月30日投開票になり選挙戦へと突入した。オール沖縄の選挙活動は、ほとんどの自治体にあるひやみかちうまんちゅの会が選挙母体となり組織戦が展開された。

自分の住んでいる南風原町是那覇市の隣の自治体で9月5日に事務所開きをした。その時、埋め立て承認をした前々知事が官僚らしき人といっしょに、町の中核的病院を訪れ集票活動をしていたとの、相手陣営の動きが報告された。



万歳する沖縄選出衆参国會議員とデニー氏（前列右から2人目）

名護市長選の時と同じやり方で、その病院につながる介護センターまで下ろしていく、国家組織ぐるみの集票活動である。

その日の夕方、町の中央公民館で青年会議所主催で公開討論会があった。玉城デニーさんは、翁長知事の意志をしっかりと受け継ぐ事を断言したが、相手候補は辺野古の埋め立てに一言も触れなかった。絶対に負けられない選挙であり奮闘の決意を固くした。

期日前投票がはじまると、相手側の候補者の名前を書いた投票用紙をスマホで発信してどこかで金を受け取るようなことや、デニーさんが犯罪に関与したかのような書き込みがネットで流されたり、手段を選ばぬ相手陣営の薄汚い選挙活動に怒り心頭であった。

菅が3回、小泉が3回の訪沖に加え、すべての大臣の訪沖、まさに安倍官邸対オール沖縄の図式で

あった。辺野古・高江で知り合った連帯する仲間達も応援に駆けつけた。スタンディングで有権者の手ふりの反応がいいことにも、相手陣営の安心させる戦術ではないか、宜野湾市以外のほとんどの自治体でデニーさんが優勢との情勢分析と活動計画の書かれた公明党の内部資料がメールで届き、仲間達に転送するとこれも公明党の作戦ではとの返事、メディアの「デニー先行」の記事にも相手側が圧力かけて書かせたのではと言う人もいて、投票日まで少しの楽観も許さない危機感を持ち続けた選挙だった。

結果8万174票の大差の勝利に繋がり、玉城デニー沖縄県知事を誕生させ安倍政権への痛打となった。まさに全国との連帯の勝利である。その事がこの国の政治の地殻変動を起こし、その先の情勢の変化に繋がることを見届けたい。

核兵器禁止条約の発効をめざし 「日本 AALA の書簡」を 73 カ国に送付

第 2 回理事会以降、核兵器禁止条約の調印国は 67 カ国、批准した国は 19 カ国になりました。8 月 25 日時点では、批准国は 14 カ国でした。条約の発効には 50 カ国の批准が必要です。日本 AALA は、73 カ国の駐日大使館にこの文書を送付しました。

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会（以下、日本 AALA）は、非同盟諸国首脳会議のオブザーバー組織であるアジア・アフリカ人民連帯機構（AAPSO）書記局の一員として、目下の最大の国際政治の課題である核兵器禁止条約の発効をめざして貴国政府の努力を求めるものです。

昨年 7 月に 122 カ国の賛成で成立した核兵器禁止条約は、核兵器の廃絶にむけた大きな一歩として世界の人々から歓迎されました。この採択に非同盟諸国が大きな役割を果たしたことに、日本の被爆者とともに運動を続けてきた私たちは大きく励まされました。

1986 年 8 月東京で開かれた原水爆禁止世界大会国際会議で採択された「核戦争を阻止し、核兵器を緊急に廃絶するために、全人類に呼びかける」と題した「東京から世界への呼びかけ」に即座に呼応したのは、ハラレで開かれた非同盟サミットでした。「いまこそ人類を正気に取り戻す時が来ている、死と破壊を優先させるのではなく、生命と発展を優先させるように順序を逆転させるべき時が来ている」とヒロシ・マナガサキの叫びに応えたものでした。これは非同盟運動の始祖たちの遺志を継ぐものでした。

今日において核兵器の持つ性格は当時といささかも変わっていません。一握りの核保有国が人類の命をもてあそぶことに対して、国際世論が高まり、核兵器禁止条約が成立したことが情勢の最大の変化です。この条約を発効させることが、可及的速やかに求められています。

ところがこの核兵器禁止条約の調印と批准をめぐる、核保有国の抵抗と妨害が繰り返されていると伝えられていることに私たちは憂慮しています。これまでに批准をした国は 14 か国にとどまっています。日本 AALA は非同盟諸国が一貫して掲げてきた核兵器廃絶の原点にたつて、あらゆる妨害を廃して批准の努力を続けるよう要望するものです。

核兵器のない平和な世界をめざしてともにたたかいましょう。

2018 年 8 月 25 日

日本 AALA 連帯委員会 第 2 回理事会

沖縄県民の選択 世界の報道から

在沖米軍の縮小を検討せよ

沖縄県知事選での玉城デニー氏の勝利は、日米政府の辺野古基地建設計画を阻止する動きとして世界のマスコミが一斉に伝えました。11 月中旬、アイルランドのダブリンで開かれる初の反米軍基地キャンペーンの国際会議に励ましを与えています。

- ◇埋め立て承認撤回の命令に日本政府が従わないのは民主主義にも法の支配にも反する。デニー氏の当選は日米政府を狼狽させている (10/ 2 デモクラシー・ナウ)
- ◇在沖米軍の縮小にむけて、日米政府は公正な解決策を探れ (10/ 1 ニューヨーク・タイムズ社説)
- ◇複雑な米軍基地問題を体現 (10/ 2 米星条旗紙)
- ◇米軍基地反対の候補が勝利。政府は最高裁の支持をあてにするが、一連の選挙で県民の多数が計画に反対であることが明らかになった (9/30 ジャカルタ・ポスト)
- ◇日本で初の biracial (二人種) 知事が、沖縄からの米軍撤退を望む (10/ 7 シンガポールのストレート・タイムズ)
- ◇米海兵隊員を父にもつ玉城氏が基地反対をかかげて勝利した。大阪ナオミのメジャー初優勝に続いて、日本人とは何かを問う出来事になった。基地移転がおくれれば中国の台頭に直面する日米同盟のなかで頭の痛い問題になる (10/ 1 マレーシア非同盟通信)

駐日大使が語る

ニカラグアの情勢

日本 AALA が新任のコロネル氏と懇談



日本 AALA 田中靖宏代表理事と野本久夫事務局長は 9 月 25 日、駐日ニカラグア大使館を訪問し、セラヤ前大使の後任として 5 月に着任したロドリゴ・コロネル駐日特命全権大使と懇談しました。田中代表理事が日本 AALA の活動と連帯運動を説明し、大使がニカラグアの情勢、政府の立場を説明しました。新藤通弘常任理事が通訳しました。

田中靖宏代表理事（以下、田中）

私たちは、非核・非同盟の日本をめざす立場から、各国の主権尊重、民族自決権の擁護の旗をかかげ、外国の干渉、圧力とたたかっている世界の人びとと連帯して活動しています。1979 年、ニカラグアのサンティニスタ政権が樹立されましたが、日本 AALA はサンティニスタ政権を支援する運動を展開してきました。

コロネル大使（以下、大使） 懇談が

もてたことをうれしく思います。困難な時の支援は、大変ありがたいことです。必要なことがあれば、どんなことでも協力します。私はわが国と国民のために働くことが使命です。

田中 最近のニカラグアに関して日本では「オルテガ大統領が再選されたが、彼が変質し、独裁的で、デモを鎮圧している」と報道されています。政権は変わってないのか、報道が一方的なのか、どうなのですか。

大使 デモがどのように始まり、なぜ起きたのか。最初に、政府による企業・労働者の年金掛け金の値上げ発表がありました。なぜ値上げしたのか。前のアレマン、ボラーニョス政権（立憲自

由党）は、新自由主義政策で社会保障制度を大幅に削減。2007 年政権に復帰したオルテガ政権は、それは不当だとして、社会保障制度を回復しました。政府が国民を助けるのは正当であり、内戦で息子を失った母親、内戦を戦った老人に年金支給を決め、年々支給額を増額してきました。この 4 月、年金制度を継続するため改革案を発表しました。2007 年以来、社会福祉を回復しながら経済は順調に成長し、私企業はかなりの利益を上げています、貧富の格差も縮小し、貧困者数も大幅に減り、麻薬取引もほとんどなく、犯罪率も中米 5 カ国で下から 2 番目で、民間企業も、国民も満足していました。社会保険庁の改革案は、年金財政の維持のため年金支給額を 5% 削減する一方、私企業の負担率を平均 7% アップ、労働者側の負担率を平均 0.5% アップという提案でした。すぐさま反対のデモが起きました。デモは表現の自由であり認められますが、デモをする人は法を守るべきで、違法なデモは当然制限を受けます。はじめは平和的抗議デモでしたが、暴力的な人たちは、道路封鎖や、政府施設、商店の襲撃など、

年金問題への抗議とは関係のない暴力行動を広げました。当然、当局はこれを鎮圧するため取締りを厳しくしました。すると政府は独裁的という批判が反政府派メディア、野党勢力によりおこなわれ、国際メディアにより喧伝されました。大統領は、すぐさま改革案を取り下げるとともに、当初より教会、反対派過激グループ、野党、民間企業最高審議会（COSEP）に対話を呼びかけ解決の道を探りました。反対派は、大統領選挙（2019 年）の前倒し実施を要求するだけで対話に応じず、分裂し、混沌としました。反対派に資金を払っている者の存在が判明しました。ベネズエラでもあった戦術です。一部の組織的犯罪グループが暴力行動をおこない、政府の厳しい取締りを引き出し、政府の信用を落とし、国際メディアでそれを報道する戦術です。ニカラグアは、麻薬取引とは無縁で、南米からアメリカに麻薬が通過するのを防ぐブロックの役割を果たしています。国の経済が大きな影響を受けたので、政府は経済活動の回復を図りました。道路封鎖の解除で市民の日常生活が戻りました。反対勢力は、ソフトクー

データというかたちで問題を起こし、経済の悪化を招き、メディアは国際通貨基金や世界銀行の誇張された数字を報道しています。しかしニカラグアの現状はすでにより、大多数の人びとは平和を望んでいます。

田中 ベネズエラでは、アメリカが前面に出て経済制裁で干渉し、軍事介入まで言っていますが、ニカラグアではどうですか

大使 大統領は、OAS（米州機構）や、OASの米州人権委員会（CIDH）にニカラグアを訪問し、調査するように申し入れました。しかし、調査をみると、人権委員会が完全に独立したものでないことが分かりました。人権委員会の調査報告は、反政府側のデモの犠牲者だけを述べ、取締り中に死亡したり、拉致され虐殺された警官の数、反政府暴力グループに殺害された親政府派の人数は報告されていませんでした。アルマグロ OAS 事務総長は、ニカラグア、ベネズエラへの介入を主張しています。ニカラグアの市民社会組織、「民主団体」や反政府メディアにアメリカの USAID（米国開発庁）から資金が流れています。国際機関は正しく伝えてほしいのです。

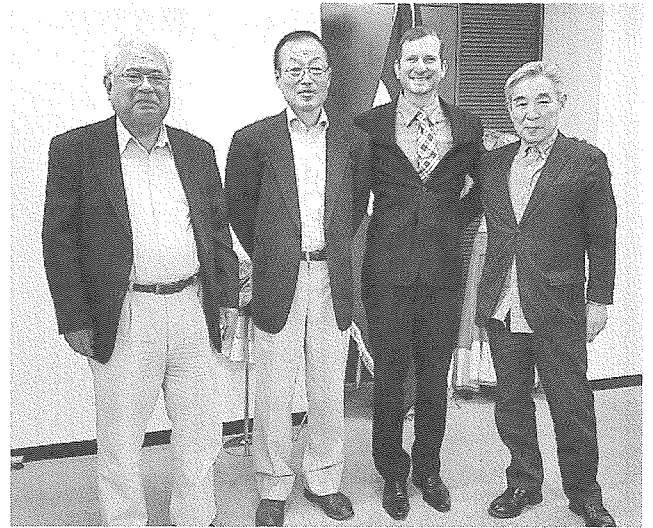
田中 与党のサンディニスタ民族解放戦線（FSLN）が対話の旗を掲

げ、国民多数の支持を追求して平和解決のためにたたかっている報道をみて感動しました。

大使 組織犯罪グループの暴力行動は、国民に支持されず終わりました。反政府行動は、平和的に解決するものと政府は承知しています。大統領は、実に粘り強い忍耐で平静に対処しています。サンディニスタ戦線は、政権の中核的役割を果たしています。

田中 チャベス政権成立後、米国の支配から自立し、新自由主義の対案を求める動きが、ラテンアメリカ諸国に広がりました。しかしこの数年アメリカの圧力・介入と親米勢力の巻き返しが強まり、反政府反動派を支援するアメリカの介入が見られます。

大使 反転攻勢がありますが、右派の政策が国民に否定的影響を与え、それを国民が理解してきています。ニカラグア国民は、現政権による反新自由主義政策、社会福祉、平穏な生活を知っていますので、右派の政策でそれを崩されると国民は思っていま



左から新藤常任理事、野本事務局長、コロネル大使、田中代表理事

す。この4カ月、国民は右派、反動勢力の正体を見ぬいてきています。外国から干渉者がなにをしてきたかを、国民は見ています。ニカラグアは、困難を克服し、正常に戻りつつあります。国際的連帯を受けて前進しています。

田中 AALAの会員は、メディアの報道からニカラグアはどうなっているのか心配していますが、サンディニスタ政府は、国民を信頼し、対処しているので、今後民主的なプロセスを重視して国の発展に自主的にとりくまれることを願っています。ありがとうございました。

日本 AALA 講演会

The Journey to Freedom — the Legacy of Nelson Mandela

自由への旅 —ネルソン・マンデラのレガシィ

「Life of Mandela - Living the legacy (マンデラの生涯—生きているレガシィ)」 上映

トゥラニ・ロモ駐日南ア共和国大使が昨年8月に着任して以来、日本 AALA は、大使との懇談、ナショナルデー（2回）、マンデラ生誕100年集いに参加しました。また、昨年の暮れに大使が顧問の秋庭稔男さんを訪問しました。12月、大使の講演会が開催されます。

12月5日（水）13:30～16:00

全国教育文化会館（エデュカス東京）地下1階会議室

（JR市ヶ谷駅徒歩10分、メトロ有楽町線麴町駅徒歩3分）

入場無料



講演 トゥラニ・ロモ 駐日南ア共和国大使



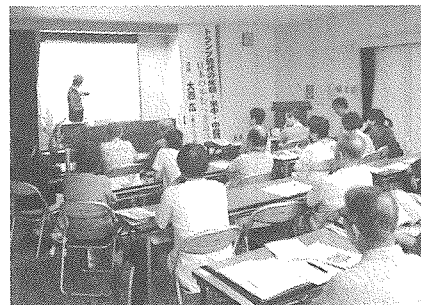
岐阜

トランプ時代の米朝・米中・中韓関係

日中友好協会岐阜県連からの呼びかけに応じて共催した慶応大学の西大先生の大西広先生の講演会が6月30日に岐阜市勤労会館で開催され、県内各地および県外からも駆けつけた計53名の参加者が熱心にメモをとりながら、大西広氏の話に

聞き入りました。

「自分で言うのもなんですが、よくできた模式図なんです」と切り出した大西氏は、ロシア、南北朝鮮、日本、アメリカ、中国の6カ国をその友好関係、対立関係で色分けした模式図を何枚も示しながら、第二次大戦後の東アジアの対立と協力関係の歴史を、非常に分りやすく解説しました。今回の北朝鮮とアメリカの合意により東アジアに平和の共同体が出現する可能性が開けたのは、経済力を背景にしたパックスアメリカ（アメリカの覇権）が衰退し、パックスシニカ（中国の覇権）に移行する世界情勢の変化のなかで起こった必然的な過程であり、トランプ政権（保護貿易主義、アメリカファースト、世界の警察官からの撤退）の誕生は、その表れにすぎないと



するマルクス経済学者の立場での理論的解明を説明しました。

ただ、パックスアメリカの衰退は歓迎すべき状況ながら、我々の時代は資本主義の最高の段階（帝国主義）時代であり、東アジアに平和の共同体ができるには、まだまだ課題がたくさんあることも、中国や北朝鮮の内政・外交問題、本誌5月号に掲載された人気の中国映画を例に語りました。

希望の部分では、韓国に起こった政変が、この変化に重要な役割

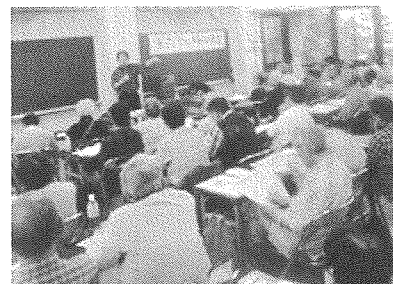


国際署名、3000筆超える！

4回目とりくみとなる国際署名、例年5月のメーデーでの署名活動から始まります。次に、5～7月の役員会前の数時間を使って、県内の友誼団体11団体を訪問し、署名の協力を依頼。さらに、支部への呼びかけもお願いします。4回目ともなると、「こちらでコピーして支部に連絡しますよ」と言ってくる団体が増えてきました。そうでないところは、千葉県AALA作成の署名依頼書・個人署名・団体署名・返信用封筒（切手貼付）をセットにしたものを支部の数をまとめて送付し、支部に呼びかけてもらいます。また、直接訪問できないところは、同様のセットを郵送します。こうして、計120団体に依頼。その後、署名が少しずつ返送されてきます。

今回は、年初めから朝鮮半島

の平和への動きが生まれ、「東アジアを不戦、平和、協力、繁栄の共同体に」という国際署名の呼びかけは情勢に合致し、諸団体の運動を勇気づけたのではないかと思います。とくに、千葉土建本部からは各支部80の団体署名と約1900筆個人署名が直接本部に郵送されました。このとりくみについてお聞きしたところ、次のような返事が返ってきました。「私たち土建組合は1947年に生まれ、その後72年に房総の地にも旗を立てました。先の大戦では、多くの先輩が戦地で内地で兵や軍属として命を落としたことから、再び、身につけた建設の技、知識を戦争には使わないことを誓い、今日まで運動を続けてきました。また安心安全な住まいづくり・まちづくりも標ぼうしています。（略）狭い範囲



事務所のある地域の津田沼9条の会、日中友好協会千葉支部との共催講演会 / 「東アジアの平和への展望」

ではありますが、本部及び支部の団体署名、各級役員レベルでの個人署名をお願いしたところ。す（略）要請事項がすべて叶うよう願ってやみません」。

9月末現在、団体署名121、個人署名3193筆。その後も、お願いした団体から署名が届いています。

日々の運動で可能な限り諸団体と協力関係（写真）をつくりながら、憲法改悪に反対し民主主義を守る大運動を担っていく、その運動の一翼でありたいと思います。

（事務局長 上田敦子）

を担い、光州事件を取上げた「タクシー運転手」という映画が韓国でメジャーな映画館で上映され、大ヒットしたという例からも、歴史は着実に前に進んでいるということを実感させられる内容でした。一方で6カ国の中で日本が浮いた状態になっているのも我々の国の政治・外交の異常さに端を発しており、それは我々も韓国に見習い、野党の共闘で、異常なアベ政権による政治支配に終止符を打つ必要があることを確信できる内容でした。(事務局長 椋木昭夫)

山形

須藤美也子偲ぶ会 —秋桜忌—

去る8月11日に他界した山形県 AALA 前理事長・顧問の須藤美也子さんの偲ぶ会が9月24日に鶴岡市内で開催されました。日本共産党の元参議院議員であり、中央委員会婦人部副部長、農・漁民部長、などであったため、全国各地から200余名の参加があり、たくさんの弔電が寄せられました。

開会に先立ち、詩の朗読「美也子さんを偲んで」がおこなわれ、第一部は琵琶で語る須藤美也子、お別れの言葉、弔電奉読、全員合唱「ふるさと」、遺族の謝辞、第二部は会食をしながら、朗読「須藤美也子 20世紀 時代を生きる」があり、各界の方々による思い出がたくさん語られました。一部のお別れの言葉は参議院議員の紙智子さん、元参議院議員の大沢辰美さん、新俳句人連盟山形県支部の遠藤津慶さん、AALA 山形県本部の大高全洋さん、新婦人の会山形県本部の豊川ちえ子が述べました。

私と故人との関係は、仕事が山形大学農学部勤務で、専門が農業・食料経済学、協同組合論のため、地元・地域での研究・教育・社会貢献を通してご縁があり、定年退職後は山形県 AALA の結成に協力するなかでご縁が深まりま



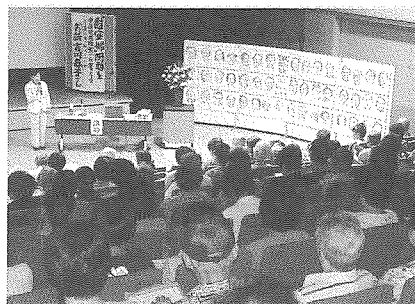
した。

山形では、まず2004年12月、鶴岡・田川支部が結成され、翌年2月に県本部が、日本 AALA の創設に遅れること50年でスタートしました。故人は参議院議員を勇退して、当時は東北で宮城県のみであった AALA を山形にも、ということで本部の指導と支援を受けて尽力しました。その年の春、ベネズエラ代表団が全国各地を訪問するというので、鶴岡、山形でも盛大に歓迎交流集会をおこなったことが故人とともに偲べれます。結成当時、東北は日本のラテンアメリカであり、故チャベス大統領率いるベネズエラを先頭とする社会変革の波に負けずにがんばろう、という夢が語られました。反動期を迎えている彼国に学び、グローバルな草の根民主主義による社会変革をめざして奮起しなければ、と自戒している昨今です。美也子さん、長い間、本当に大変ご苦労でした。

(副理事長 大高全洋)

埼玉

「慰安婦」問題講演会に 170人



「2018年平和のための埼玉の戦争展(7/28～30)」に参加し、28日にビデオ・紙芝居コーナーでビデオ上映をおこないました。タイトルは「金学順(キム・ハク

スン)さんを知っていますか?『従軍慰安婦』問題の解決をもとめて』です。

内容は、1994年10月1日に金学順さんを招いて、埼玉で証言集会を開いたときの収録です。高校生など若者も含め21名の視聴者がありました。金学順さんが実名での名乗りと日本政府を告発したこのたたかひの軌跡を今後もっと学ぶ必要性を感じました。

昨年度の秩父地域での「連帯のつどい」に続く地域集会の第2弾として「2018 連帯のつどい in 加須」を9月8日に開催しました。加須地域を中心に全国各地から170名の方が参加し、ホールを埋めました。

オープニングは「舞」。これは埼玉 AALA が十数年来交流を深めている朝鮮女性同盟会員による独舞・群舞で、参加者を魅了しました。

講演は、元参議院議員の吉川春子さんが「慰安婦」問題を安倍政権改憲から考える—「慰安婦」問題は解決したのか—というテーマでおこないました。吉川さんは、戦争は必ず「慰安婦」を生み出すといい、憲法9条は最大の女性の人権保障規定であり、男女平等をうたった24条の大切さを話しました。また、「慰安婦」被害者として実名で名乗り出た金額順さんを韓国社会や運動体が全力で支えたのに対し、名乗り出た日本人「慰安婦」を支えなかった運動体やメディア、日本社会。なぜ日本人「慰安婦」は名乗り出ないのか、今日の性暴力に対する「#Me Too」運動、ドイツの歴史への向き合い方なども交えて話しました。日本人「慰安婦」問題を突破口にして、日本人女性の人権保障、女性の地位向上に結びつく運動をおこないたいと、大きなスクリーンに大写しされた資料で分かりやすく説明し、話を結びました。

「連帯のつどい in 加須」成功の鍵は、現地実行委員会(構成:加須支部、久喜市の会員、「慰安婦」

問題とジェンダーゼミナール、埼玉 AALA 事務局) が短期間に3回開かれ、討議を重ねたこと、新婦人加須支部や土建支部など後援団体が13に広がったこと、チラシ・チケットの配布、普及を幅広く、確実におこなったこと、つどいの役割分担を事前に明確にし、全実行委員が奮闘したことです。

(事務局長 久保田三徳)

広島

原水禁世界大会代表との交流

今年の原水爆禁止世界大会には海外から22カ国91人の代表が参加、核兵器禁止条約の批准を成功させようと、交流を深めました。

日本コリア協会・広島と広島 AALA は毎年、アジア・太平洋地域の代表を招き「交流の夕べ」を開いています。今年は国際会議の1日目の8月3日夕方からおこないました。つどいには韓国、フィリピン、アメリカ、インドか

ら10人の海外代表と、迎えるのは国内から6人、地元広島が11人でした。通訳や演奏していただく方を含めて総勢30人余りでした。

国内からは宮城 AALA の小林立雄さんも参加されていました。アジア・太平洋地域と言いつつアメリカの代表はなぜか、AALA 代表のお家にホームステイをしていた関係で参加されましたが、国境を越えての連帯には国は関係ありません。6人の代表が参加した韓国からは在韓被爆者、民主労組総連合、女性団体の代表が参加され、ロウソク集会など民主化のたたかい、南北・米朝会談などが熱く語られました。毎回参加のフィリピンの代表は日本の演歌を歌い、インドやアメリカの代表も歌を交え、和やかな時を過ごしました。

この交流会はもともとコリア協会が韓国代表を囲む会ではじめでしたが、ロングラップの会や AALA が加わり40人を超えると



きもありました。昨年からはロングラップの会は残念ながら参加できなくなりました。昨年の核兵器禁止条約が採択され被爆地の広島はもちろん、毎年、原水爆禁止運動の発展のために遠く広島への集会に参加してきた多くの国々の市民運動にとっても歴史的な意義を確認し合ったことでしょう。

ICAN によれば来年には禁止条約が批准される見通しが語られています。また、南北会談がすすみ、東北アジアの平和構築へ展望が具体化するよう、ますます国際連帯を強めるためにがんばりたいものです。AALA のみなさんも広島に来られた際にはご参加ください。(事務局長 利元克己)

会員のみなさまにお願いします

オスパールコーヒーを ご家庭・職場でご利用ください

オスパールコーヒーのギフトセットが全15種類からえらべます

基本3品：マラゴジペ/キリマンジャロ/ブレンド (箱代250円)

基本6品：3品+マンデリン/ブラジル/コロンビア (箱代250円)

3品セット：3,370円/6品セット：6,290円



平和を願う AALA 諸国の人びととの連帯を思い、オスパールコーヒーがはじめて31年目。香りと味で好評のオスパールコーヒーをご家庭や職場でどうぞ。

(株) オスパール FAX: 049-254-8158 電話: 049-254-6241

日本 AALA ホームページからもお申込できます。

日本AALA

検索

編集・発行

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会 JAPAN ASIA AFRICA LATIN AMERICA SOLIDARITY COMMITTEE



住所 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-11-7 第33 宮庭ビル4階

電話: 03 (5363) 3470 HomePage <http://www.japan-aala.org/>

FAX: 03 (3357) 6255 E-mail: info@japan-aala.org

振替 00110-6-72434 毎月1回1日発行1部150円(送料62円)